

ようこそ、日野町へ！

長距離列車「WEST EXPRESS 銀河」を歓迎



横断幕やフラッグを振って銀河を歓迎

9月12日、JR西日本の長距離列車「WEST EXPRESS 銀河」が根雨駅に到着し、関係者や住民らが駅ホームで出迎えました。新型コロナウイルスの影響で5月の運行開始が延期されていましたが、約4カ月遅れで初運行。ホームに列車の姿が見えると、出迎えた人々からは大きな歓声が上がりました。乗客は、駅に設置された金持神社の分祠を参拝したり、特産品コーナーで宝くじや特産品のシイタケを買い求めたりと、日野町のおもてなしを楽しんでいました。

堆肥有効活用で良い土づくりを

畜産堆肥散布事業開始セレモニー



畜産堆肥をトラックに積み込む小谷さん

9月17日、小谷晋さん（小河内）の堆肥舎で、畜産堆肥散布事業開始セレモニーが行われました。この事業は、農業の共助の仕組みづくりを進める「日野町がんばる地域プラン」の一環で、町農林振興公社が各農家からの注文を受け付け、ほ場に堆肥を運搬、散布を行うものです。当日は、「どんどん町民の皆さんに使ってもらいたい」と埴田町長があいさつ。事業の円滑な実施と安全を祈って、小谷牧場の牛乳で参列者が乾杯し、その後、堆肥をトラックに積み込み、町内の水田に散布しました。

地域との協働で次世代を育てる

日野高校魅力向上推進協議会シンポジウム



▶日野高校の存続について語る作野教授



9月26日、町文化センターで、日野高校魅力向上推進協議会シンポジウムが開かれました。

当日は、「中山間地域における日野高校存続の意義」日野高校の存続が鳥取県の未来を切り拓く」をテーマに、島根大学教育学部の作野広和教授が講演を行いました。

日野高校が存続するためにどうすればいいのか。作野教授は、「日野高校がすばらしいということ、地域の人が再認識することが大切。地域全体が教育の場となって、皆で学んでいくことが、魅力化につながっていく」と語りました。

その後、「日野高校の未来について」考えるワークショップが、町山村開発センターで行われました。

参加者は、理想の日野高校とはなにか。そのために、今、私たちができることはなにかなどを、グループに分かれて討論。「次世代を担う人材を育てるため、情報発信や地域とのつながりを深めていくことが重要」など、活発な意見が交わされました。参加者からは、「前向きなイベントとなった。またこういう話し合いの場を設けてほしい」と、今後に期待を込めました。



活発な意見が交わされたワークショップ



新たな特産品として期待高まる

知っていますか？

青パイイヤ

◀収穫間近の青パイイヤの実。葉は茶葉に加工したりと、利用の幅は大きい▼「大きく育ってくれたら」と、収穫を待ち望む遠藤潤一さん（左）と遠藤和也さん（右）。



栄養豊富で、健康食材として近年注目を集めている青パイイヤ。日野町でも、遠藤潤一さん（久住）を中心として、今年の春から栽培を始めています。青パイイヤは育てやすく、越冬する必要がないため、寒い地方でも育てることができます。収穫は10月～11月頃。遠藤さんは「これからの課題は販路の確保。来年度はさらに苗を増やし、収穫量を増やして流通に乗るようにしていきたい」と、今後の展望を語りました。



▲最大で2メートル近くまで成長

青パイイヤって？



青パイイヤ（野菜パイイヤ）は、フルーツパイイヤの未熟果で、東南アジアや沖縄県では日常的に食べられている野菜です。近年、タイ料理などがメジャーとなり、業務用の増加はもちろん、直売所やスーパーでも見かける野菜となりました。ビタミンCやポリフェノールが豊富で、食物酵素が多く、ダイエット効果が期待される食材です。

ごみの分別排出に

ご協力をお願いします

収集場に出された資源ごみ（古紙類やビン・缶類など）は売却され、リサイクルプラザの運営費となります。



収集

選別



売却

問合せ先 / 資源ごみ・不燃ごみ・不燃性粗大ごみ・ペットボトルの直接持込は…

鳥取県西部広域行政管理組合
（電話 0859-68-4071）

リサイクルプラザ



満100歳を迎えた佐野さん（右）

いつまでも元気で、長寿をお祝い
敬老記念品の贈呈

町内の高齢者の長寿をお祝いしようとして、9月23日、埴田町長が高齢者宅を訪問し、記念品を手渡ししました。
今回対象となったのは、満88歳を迎えた44人と、満100歳を迎えた2人の計46人です。
そのうち、満100歳を迎えた佐野友枝さん（津地）には、内閣総理大臣から祝状と銀杯が、町から記念品が贈られました。
埴田町長は「いつまでも元気で過ごしてください」とメッセージを送り、長寿を祝いました。